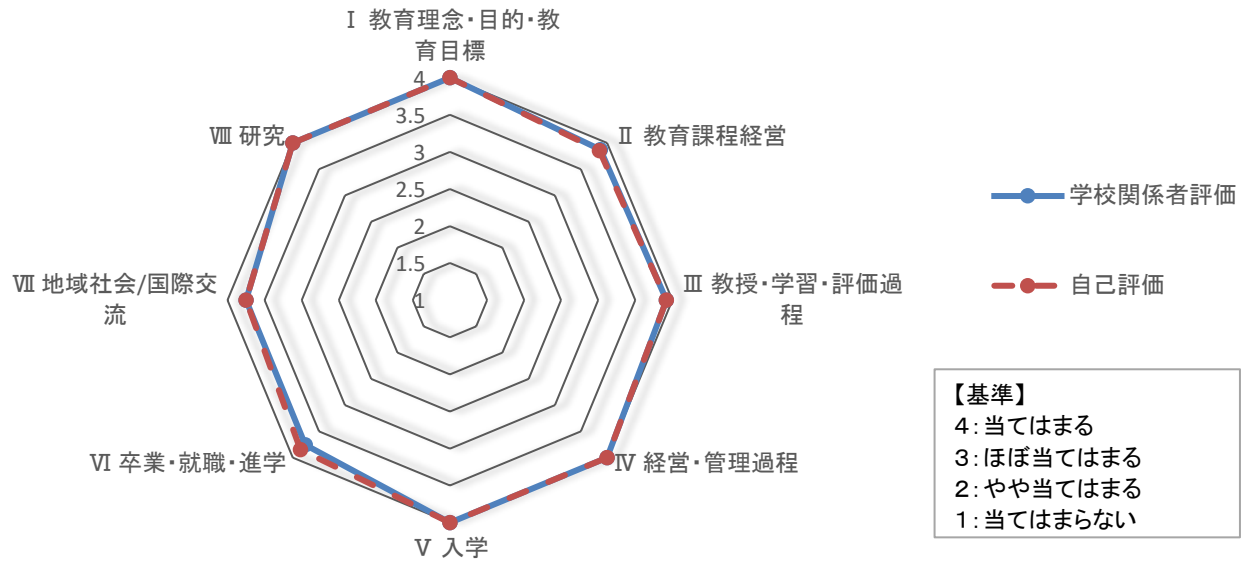


2025年度 学校関係者評価結果



【評価結果と課題】

カテゴリー	評価の概要	外部評価	自己評価
I 教育理念・目的・教育目標	・教育理念・教育目的・教育方針は(アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー)・教育目標をガイダンス資料に明記し、毎年度4月に学生および職員へ配布し周知している。目標を達成できるよう教育活動を実践し、評価している。	4.00	4.00
II 教育課程経営	・講師会議を行うなど、外部講師を含めた教職員が教育理念・教育目的・教育目標の達成に向けて一貫した活動を行えるよう取り組んでいる。 ・令和7年度はDX効果検証事業にも取り組みICTの活用も推進している。 ・教員の業務役割や担当科目変更による授業準備時間の確保が課題である。	3.85	3.85
III 教授・学習・評価過程	・教員会議、実習指導者会議、実習調整会議などで学生の目標達成状況を把握している。 ・Google Classroomの活用、実習記録のクラウド化を行ない、学生の学習が深化、発展できるよう学習を支援している。 ・学生からの授業評価、教員の自己評価・他者評価を実施している。 ・ICT活用についての実践評価をし、さらなる改善や推進が課題である。	3.93	3.92
IV 経営・管理過程	・学習環境については更新や修繕が必要なため整備計画を策定していく。 ・不審者対応等、危機管理整備をすすめている。安全管理については病院と連携しながら訓練等に参加していく。 ・学校の危機管理についてマニュアルの整備をする。	4.00	4.00
V 入学	・教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜をするためアドミッションポリシーを示している。 ・入学試験の見直しを行い、学生の充足率は100%を維持している。	4.00	4.00
VI 卒業・就職・進学	・卒業生の状況把握は就職施設との情報交換をし、連携しながら支援をしている。 ・卒業後の活動状況および看護実践力の把握については方法の工夫が必要である。	3.76	3.85
VII 地域社会/国際交流	・留学や海外において看護職に就くこと等を希望する卒業生に対して、英文による証明書を発行するなど対応している。 ・ボランティアは病院や地域の小学校より依頼があり活動は実施している。 ・地域社会との連携を強化した取り組みが検討課題である。	3.75	3.75
VIII 研究	・倫理審査委員会の承認を得て研究に取り組み、学会等で研究発表や実践報告をしている。 ・教員の研究活動が進むように計画的に時間を確保し、教員相互で支援しながら取り組む。	4.00	4.00